ときの玉手箱 ～博物館からのメッセージ～

第186回

江戸の乗物 ― 女乗物の世界 ―

古来、日本で用いられた乗物には、車と輿、駕籠があります。車は車輪を備えたもので、牛などに引かせる乗物です。輿と駕籠は、人が担いで運ぶ乗物です。ヨーロッパなどでは、古くから車輪を備えた形式が主流を占めましたが、日本の場合、車に適した道路の整備が京都以外では整っておらず、また、車は小回りが利かないこと、製作費用が莫大であることから、輿や駕籠が主に用いられてきました。

輿と駕籠は、担いで運ぶ点は同じですが、輿は、乗台の底部に担い棒を通した形のものであり、駕籠は、屋根に担ぎ棒を通す構造です。駕籠は、輿のように台を高く持ち上げる必要がないため安定性が良く、材料も少量で済むという利点があり、輿に比べるとより機能的な構造といえるでしょう。そのため、駕籠は、江戸時代に入った頃には広く普及し、人々の生活に欠かせない存在となりました。

駕籠は、乗る人の身分や職業に応じてさまざまな種類がありましたが、大きくは2種に分けられます。庶民用のものと貴人用のものです。当時は、前者は「駕籠」、後者は「乗物」と呼ばれ、特に外観において、両者の違いは明白でした。江戸時代の人々にとって、乗物は、単に移動するためだけの道具ではなく、時には華麗な装飾を加え、権力を示すために用いるものでもあったのです。なかでも、高位の女性が使用する乗物は、「女乗物」と呼ばれ、動く美術品と言えるほど華麗なものでした。

江戸時代の風俗を書いた喜田川守貞の風俗誌『守貞謾稿』に、女乗物の特徴が詳しく記されています。この本から、女乗物の外装は5種に分類され、身分によって使い分けられていること、黒漆塗金蒔絵を施したものが最も格が高く、大名の奥方をはじめ、高位の女性が用いたことが分かります。

ここで、現存する作品でその具体的な例を紹介します。写真は、井伊家13代直弼の息女弥千代（1845～1927）が、安政5年（1858）に高松藩松平家世子頼聰に嫁ぐ際に調えた婚礼調度の一つです。全面に黒漆塗が施され、金蒔絵で松竹梅の模様と、井伊家の家紋の橘と松平家の家紋の葵が表されています。内側の天井と壁面には、金地に四季の花鳥が彩り豊かに描かれており、あたかも大書院の壁画を見るような趣があります。屋根は唐破風という形式で、荘重な印象を与えます。さらには随所にきらびやかな飾金具があしらわれ、まさに、小さな御殿とも言えるしつらえです。

明治を迎え、生活の洋式化が進むと、人力車が普及し、駕籠の使用は絶えてしまいます。弥千代の駕籠をはじめ、今に伝わる豪華な女乗物は、江戸時代に花開いた乗物を飾る文化の頂点を極めたものと言えるでしょう。弥千代の乗物のきらびやかな世界に、触れてみてはいかがでしょうか。

（彦根城博物館学芸員　奥田晶子）

▲黒漆塗松竹梅葵橘紋女乗物

写真の作品は、テーマ展「雛と雛道具」で2月3日㈮～3月6日㈫の期間、展示します。（期間中無休）

博物館だより

彦根城博物館　☎ 22-6100・FAX 22-6520
URL http://longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/

開館時間　8：30～17：00（入館は16：30まで）

テーマ展

2月3日㈮～3月6日㈫

「雛と雛道具」

井伊家13代直弼の愛娘・弥千代の雛と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した古今雛や御殿飾りなどとともに公開します。

▲弥千代の雛道具

観覧料が必要です

ギャラリートーク
「雛と雛道具」
2月4日㈯　14：00～15：00
解説：彦根城博物館学芸員
※事前申し込みは不要です。当日、直接展示室1にお集まりください。

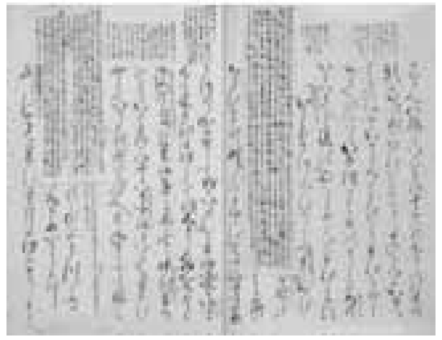
常設展示の名品

ほんものとの出会い　― 常設展示の名品―

常設展示「"ほんもの"との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

2月1日㈬～3月5日㈪

伊勢物語　井伊直弼筆写



若き直弼が、平安時代の歌物語「伊勢物語」を筆写して注釈を書き加えたもの。大量の書き込みから、徹底した学習の姿勢がうかがえます。

2月の休館日はありません。
※2月1日㈬・2日㈭は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

文化プラザだより

ひこね市文化プラザ☎26-8601・FAX26-8602

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター　☎27-5200（9:00～19:00）
インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

★★★　注目のイベント　★★★

3月20日㈫・㈷　14：00～　みずほ文化センター

みずほ文化センター公演
「長唄三味線ライヴ」

長唄三味線方として歌舞伎公演、舞踊会などに出演する松永鉄九郎による単独三味線ライブ。楽しいトークにもご期待ください。

自由　一般2,000円　【発売中】

3月3日㈯　14：00～　グランドホール2階ロビー

ワールド・ミュージック・トリップ特別企画ロビーコンサート
「フィンランド伝統楽器カンテレ～北欧の響き～」

フィンランドの伝統楽器カンテレ奏者・あらひろこによる、北欧の美しい響きをお届けします。ゲストに迎えるトゥバ民族音楽演奏家・等々力政彦との異国音楽の融合もお楽しみください。

自由　一般500円　WMT会員400円
【発売中】　※中学生以下無料

※SP会員…スチューデント・パスポート会員（登録無料の学生会員）
※WMT会員…ワールド・ミュージック・トリップ会員

携帯メール会員募集!!
イベントにより、会員限定の特別価格情報を配信!
※右記のQRコードからご登録ください。

2月の催し

2月2日㈭・同16日㈭・3月1日㈭　19：00～　メッセホール
ひこね市民大学講座　歴史手習塾　セミナー11
「危機を乗り越えた日本人」～江戸時代に学ぶ日本人の叡智～
自由　一般3,000円　SP会員1,800円（3講座分）【発売中】

2月25日㈯　16：00～　エコーホール
金亀亭第10回落語ライブ「立川志らく 独演会」
指定　一般3,500円　SP会員2,000円　【発売中】

最新チケット発売情報

4月7日㈯　19：00～　メッセホール
ワールド・ミュージック・トリップvol.5
フィドルライブ「フリッグ」　【2月11日㈯・㈷発売】
自由　一般3,900円　WMT会員3,300円　SP会員2,000円

5月24日㈭　14：00～／18：00～　グランドホール
宝塚花組公演
ミュージカル・ロマン「長い春の果てに」
レビュー・ファンタシーク「カノン」-Our Melody-
指定　一階席7,000円　二階席5,500円
【2月19日㈰発売】　※初日電話予約のみ

5月11日㈮　19：00～　エコーホール
金亀亭第11回落語ライブ「立川談笑 独演会」
指定　一般3,500円　SP会員2,000円　【2月26日㈰発売】

2月の休館日
6日㈪、13日㈪、20日㈪、27日㈪